

株式会社真空断熱研究所

Mission

様々な産業の課題を『真空断熱技術』で解決し、
持続可能でエネルギー効率の高い未来を実現します。



会社概要

- 商号** : 株式会社真空断熱研究所
- 設立** : 2024年10月
- 事業内容** : 真空断熱技術に関する研究、開発、コンサルティング
真空技術を応用した製品の企画、開発、製造、販売
断熱材料および関連機器の設計、製造、販売、輸出入
エネルギー効率向上のための技術支援
- 所在地** : 三重県亀山市西町556-13
- 代表取締役** : 中村 圭介

中村 圭介

KEISUKE NAKAMURA



資格：1級真空技術者
(23-B0015号)

受賞：2023年機械学会東海支部賞
技術賞受賞

(塗装槽および乾燥炉内で使用可能な耐水耐熱
変位測定装置)

[VIEW MORE →](#)

経歴

2000年 自動車部品メーカー入社

2000年～2008年 自動車部品 設計、生産技術、製造

2008年～2021年 魔法瓶、真空断熱容器 開発、生産技術、製造

- ・大型蓄電池用真空断熱容器 真空技術構築
- ・魔法瓶 加工技術開発、真空技術研究開発
- ・リークその他各種検査機、洗浄機の生産準備

2021年～2024年 魔法瓶ブランド立ち上げ

2024年 自動車部品メーカー退社

6月 真空断熱研究所創業

10月 株式会社真空断熱研究所設立

真空断熱研究所のコア技術

過酷環境下で使用可能な測定器

塗装乾燥炉という過酷環境下で自動車に変形してしまう対策を検討する上で変形の過程を実測し、真の原因を特定するため、計測器を過酷環境から保護する真空断熱容器を開発し、実測を可能にしました。

(2023年度機械学会東海支部賞 技術賞受賞)



目的：計測器の保護
サイズ：Φ200 L600
耐熱：200°C
水深：1.2m
容器重量：約5kg

引用写真：スズキ株式会社様での使用例

出典:日本機械学会東海支部HP

https://www.tokai.jsme.or.jp/application/files/7617/2244/1610/newsletter_no34.pdf

真空技術

設計技術

ステンレス加工技術

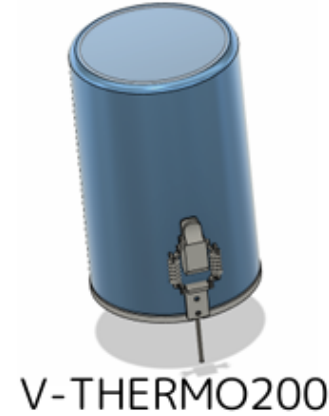
真空処理分析技術

事業概要

小型耐熱温度ロガー（V-THERMO）事業

『もっと手軽に製品温度を計測したい』というお客様のニーズから生まれた、真空断熱技術を使うことで今まで計測が難しかった環境下で、小型、軽量を実現した耐熱温度ロガーです。

[VIEW MORE →](#)



目的：計測器の保護
サイズ：Φ80 L120
耐熱：200℃
重量：約0.5kg

受託事業

設備で使用するヒーターで温めた媒体を保温することで省エネ性を向上させることを目的とした真空断熱容器を提供します。



目的：液体保温
サイズ：Φ100 L450
目標SPEC：
80℃以上、12時間
容器重量：約5kg

医療分野など品質維持に温度管理を必要とする物流や保管用といった将来のコールドチェーンを目的とした真空断熱容器を提供します。



目的：定温輸送
サイズ：Φ200 L350
目標SPEC：
-180℃以下、4日間
容器重量：約5kg

真空断熱研究所の強み



最先端技術の 継続的な追及

長年にわたる最先端の真空断熱技術及びその加工技術の開発の経験に基づき、今後も最先端の技術を追求し続け、社会に貢献できる体制を構築していきます。



小規模な開発案件 にも柔軟に対応

顧客のニーズや要件に合わせたカスタマイズ製品はもちろん、自動車、電機、医療など様々な産業分野に応じたソリューションを提案します。



多様な開発フェーズへの 最適な提案

得意とする開発要素が強い1点ものから、量産フェーズに至るまで、各フェーズに合わせて最適なソリューションを提供し、開発案件を円滑に進めるサポートを行います。

お客様の多様なニーズに応え、高品質な技術とサービスを提供します。